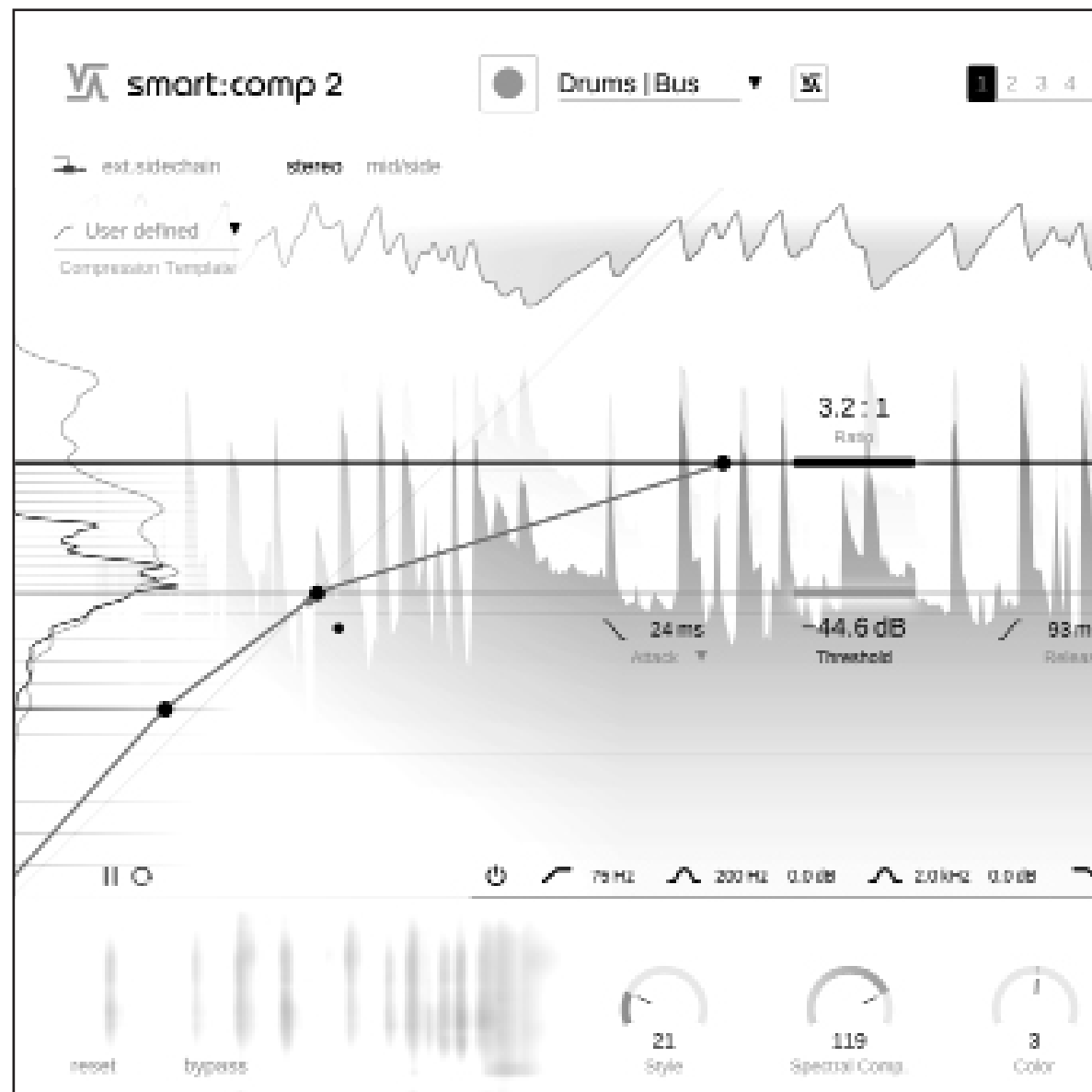


# smart:comp 2 マニュアル

スペクトロダイナミック  
コンプレッサー



# 目次

目次	2
smart:comp 2へようこそ	3
インストール	4
オーソライズ	5
ユーザーインターフェイス	6
学習	7
コンプレッションパラメータ	8
アタック&リリースシェイパー	9
スペクトラルコンプレッション	10
スペクトラルダッキング	11
フリーフォームトランスファーファンクション&レベルヒストグラム	12
フリーフォームトランスファーファンクションの例	13
メータリング&ゲインコントロール	14
インプットライディング	15
サイドチェインEQ	16
M/S処理	17
サラウンド処理	18
ステートとプリセット	19
設定とライセンス	20



# smart:comp 2へようこそ

smart:comp 2は、多次元的なコンプレッションアプローチと幅広いサウンドシェイピングオプションを組み合わせたユニークなコンプレッサーで、インテリジェントな処理と自動パラメータ設定により、入力信号を損なわず、正確かつ透明な結果を提供します。

smart:comp 2は、非常に万能なコンプレッサーです。シングルトラック、バス、ミックス全体に対応したAIパワーのアルゴリズムとプロファイルを利用することで、どんな入力信号でもバランスの良いダイナミクスを実現します。また、フリーフォームトランスファーファンクションやアタック&リリースシェイパーなどのサウンドシェイピングオプションを使うことで、独自のサウンドを実現することができます。

このコンプレッサーの革新的なスペクトラル処理により、最大2000バンドが常に透明度を高めるために動作し、ダッキング能力も驚くべきものとなっています。smart:comp 2には、M/S処理やインプットレベルライディングなどの機能が搭載されており、コンプレッションのワークフローをストレスなく行うことができます。各パラメータの信号への影響をユーザーが追跡できるように、smart:comp 2にはインスタントインパクトプリディクション、コンプレッションマッピング、RMSレベルヒストグラムなどのリアルタイムモニタリング要素も搭載されています。

smart:comp 2を使って創作を楽しみましょう!

# インストール

## システム要件

CPU	Intel Core i5
RAM	4GB
オペレーティングシステム	Windows 10 (64ビット) Mac OSX 10.12以上



プラグインを正常にインストールするためには、管理者権限が必要です。

## Windows

インストールを開始するには、ダウンロードしたzipファイルを解凍してください。 [sonible\\_smartcomp2\\_1.0.0.zip](#)をハードディスクに保存し、インストーラーを実行してください。

インストーラーがsmart:comp2をパソコンにインストールするために必要な手順を案内してくれます。インストール時に、smart:comp2のどのバージョンをインストールするかを選択できます。また、VSTバージョンのカスタムインストールフォルダを選択するか、インストーラーが提案するデフォルトフォルダを使用することができます。

VST3版とAAX版のプラグインは、それぞれのデフォルトフォルダに自動的にインストールされます。

### デフォルトフォルダ:

#### VST3

C:\Program Files\Common Files\VST3\

#### VST

C:\Program Files\Common Files\VST\

#### AAX

C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins

## Mac OSX

インストールを開始するには、ディスクイメージ [sonible\\_smartcomp2\\_mac\\_1.0.0.dmg](#)を開いてください。これによりイメージがマウントされ、インストールパッケージの内容が表示されたFinderウィンドウが開かれます。

smart:comp 2をシステムにインストールするには、インストールファイル [smartcomp2.pkg](#)を実行してください。インストーラーはsmart:comp 2をコンピュータにインストールするために必要な手順を案内します。 [smart:comp2](#)はオーディオプラグインのデフォルトの場所に自動的にインストールされます。

### デフォルトフォルダ:

#### Audio Unit

/Library/Audio/Plug-Ins/Components/

#### VST

/Library/Audio/Plug-Ins/VST/

#### VST3

/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/

#### AAX

/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

# オーソライズ

## ライセンス方式

ライセンス方式は、マシンベースとiLok(USB dongle)の2種類から選択可能です。

www.sonible.comでユーザーアカウントを作成し、製品を登録することで、ダッシュボードにまだ表示されていない製品のプラグインアクティベーションを管理することができます。

## マシンベース

ライセンスキー1つでsmart:comp 2を、固有のシステムIDを持つ2台のコンピュータにインストールすることができます。これらのシステムIDは、ライセンス認証の際に登録されます。

同じライセンスを複数のユーザーで使用することができますが、各ユーザーが自分のアカウントでsmart:comp 2製品版のロックを個別に解除する必要があります。

システムIDが変更された場合(例:ハードドライブの交換など)、sonibleユーザーアカウントのダッシュボードで該当するシステムIDの隣にあるプラグインの取り消し/アクティベート(revoke/Activate)を行うことができます。

## iLok

1つのアクティベーションをiLokに転送したい場合、まずプラグインがsonibleユーザーアカウントに登録されていることを確認します。ダッシュボードのプラグインの横にある「transfer to iLok」ボタンをクリックし、指示に従って操作してください。

注意:第1世代iLok dongleとiLokクラウドは現在サポートされていません。

## ロック解除

smart:comp 2のライセンスをオンラインで購入された方には、ライセンスキーをメールでお送りします。

## マシンベースでのロック解除

smart:comp 2を初めて起動すると、有効なライセンスキーでsmart:comp 2のロックを解除するよう求める通知ウィンドウが表示されます。

登録作業を開始する前に、パソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。

ライセンスキーを入力して、「register.」をクリックします。プラグインは、ライセンスが有効かどうかを確認するために弊社サーバーと通信します。ライセンスが有効であれば完了です。お楽しみください!

## iLok

ライセンスをiLokに転送した場合は、iLokをコンピュータに接続するだけでプラグインは自動的に登録され、お楽しみいただけます!

If you don't receive the email within minutes please check your junk folder first before contacting our support ([support@sonible.com](mailto:support@sonible.com)).

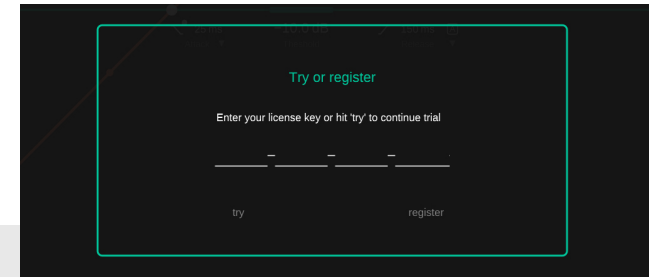
## 体験版

デモモードでsmart:comp 2を実行するには、「try」をクリックするだけで、数日間、制限なくsmart:comp 2を使用することができます。(現在のsmart:comp 2のデモ期間については、弊社ウェブサイトをご参照ください。)

デモ期間が終了した場合、プラグインを継続して使用するためには正規ライセンスを購入する必要があります。

## インターネット接続の条件

sonibleプラグインは、試用期間中と最初のライセンス認証時にのみインターネットに接続する必要があります。試用期間中は、プラグインを使用するたびにインターネットに接続する必要があります。プラグインのライセンスが正常にアクティベートされると、インターネット接続は不要になります。



## My Licenses

XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX

Register license key

[Need help?](#)

Product	License Key	Type	Description	Status	Date	Action
smart:comp 2 <a href="#">Download</a>	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX	PC	XXXXXX	active	2000-00-00	<a href="#">revoke</a>
				not activated		<a href="#">transfer to iLok</a>

# ユーザーインターフェイス

## メータリングセクション

モニターレベルやコンプレッションを表示します。入出力のゲインやミックスパラメータを調整できます。インプットライディングとソフトクリップリミッターをアクティブにできます。

## ステート

最大8つの異なるステートを使用して、簡単に設定を比較したり、トラックの複数バージョンを準備することができます。

## 学習セクション

学習セクションを開始し、プロファイルを選択します。



## タイムドメインコンプレッション

タイムドメインコンプレッションの全パラメータを制御します。

## コンプレッショングリッド

コンプレッション設定の視覚的な表示と、入出力レベルヒストグラムのモニターができます。

## スペクトラルコンプレッション

スペクトラルコンプレッションのモニターとコントロールができます。

## サウンドシェイピングツール

コンプレッションスタイルを選択し、スペクトラルコンプレッションをコントロールすることで、トラックに適切なカラーを与えることができます。

## サイドチェインフィルター

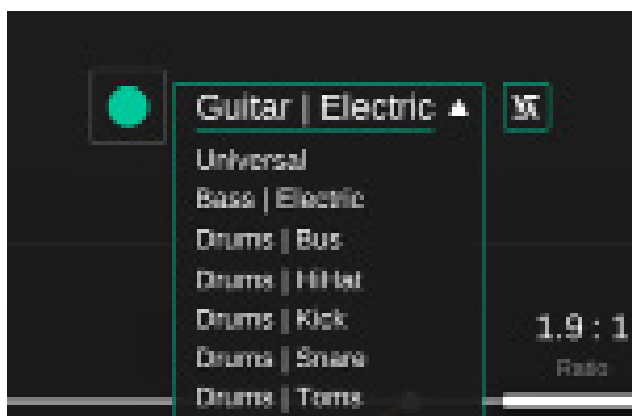
サイドチェイン信号をプリフィルタリングして、コンプレッサーによる特定の周波数領域に対しての感度を調整することができます。EQウィジェットを展開すると、フルコントロールできます。

# 学習

smart:comp 2は、バランスの良いコンプレッション結果を得るために適切なパラメータを見つけ出す独自の学習機能を搭載しています。

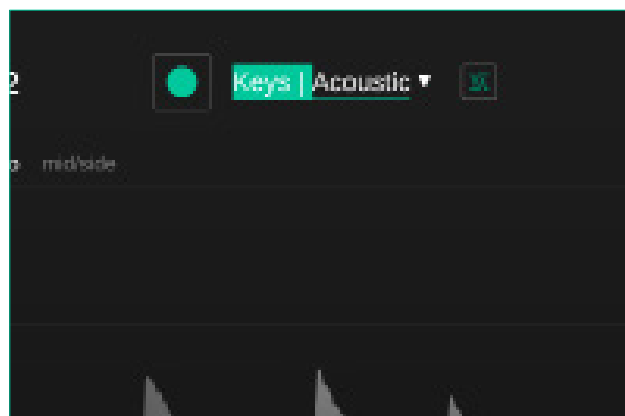
学習プロセスでは、smart:comp 2が入力されたオーディオ信号を分析し、バランスのとれた透明なコンプレッションになるようパラメータを自動的に算出します。

インストゥルメントトラック、バス、ミックスなどに対応する幅広いプロファイルによって、様々なタイプのシグナルに対してプラグインを最適化することができます。



## 1. プロファイルを選択

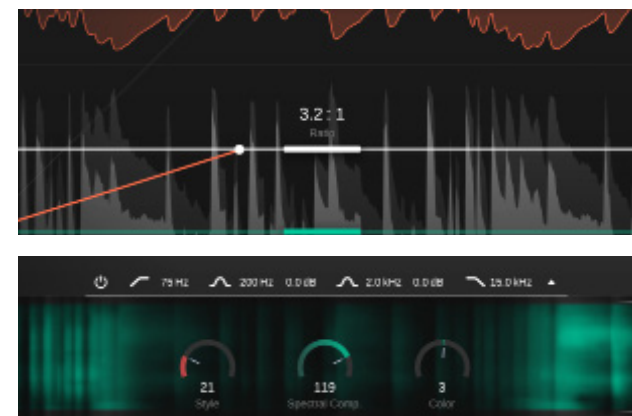
プロファイルは、smart:comp 2の処理を特定のサウンドソースに合わせて調整するためのものです。「Universal」プロファイルで学習プロセスを開始し、後でより特定のプロファイルに切り替えることができます。



## 2. オーディオを再生して学習を開始

smart:comp 2は、学習プロセスのためにオーディオ素材の入力が必要です。学習中は、プロファイルのドロップダウン内にある進捗バーが、プロセスの進行状況を示します。

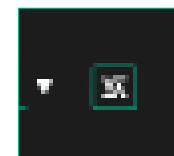
smart:comp 2に、トラックの比較的大きな音量の部分(例:サビ)を学習させることをおすすめします。これにより、プラグインはトラックの最も重要なダイナミックセクションを把握することができます。



## 3. 完了!

学習が完了すると、smart:comp 2は自動的にコンプレッションパラメータ(レシオ、スレッシュホールド、アタック、リリース)を設定します。

さらに、スペクトラルコンプレッション、カラーコントロール、インプットライディングが有効になります。



### スマートステート

手動で変更した後、このボタンを選択することでsmart:comp 2の推奨設定に戻すことができます。

# コンプレッションパラメータ

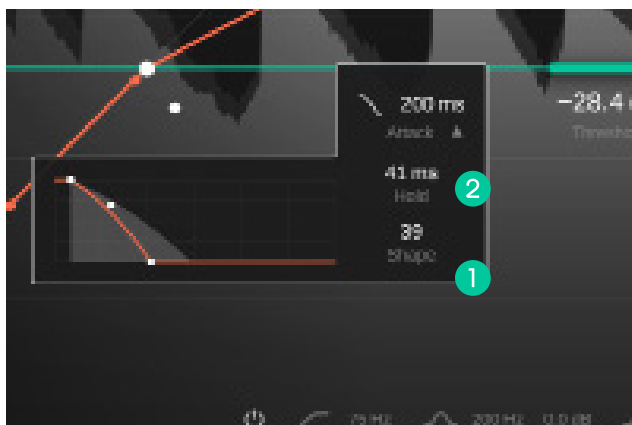
- 1 スレッシュホールド**  
スレッシュホールドは、コンプレッションエフェクトが働き始める入力信号のレベルを定義します。入力信号の最大レベルより低く設定する必要があります。
- 2 レシオ**  
レシオは、スレッシュホールドを超えた信号に対して、どの程度の圧縮がかかるかを決定します。
- 3 アタック**  
アタックは、スレッシュホールドレベルを超えた後、信号が完全に圧縮されるまでの時間を定義します。
- 4 リリース**  
リリースは、信号が圧縮された状態から元の非圧縮の状態に回復するまでの時間を定義します。
- 5 オートリリース**  
オートリリースが有効な場合、リリースタイムは入力信号の特性に合わせて適応します。この適応型のリリースタイムにより、より極端なゲイン設定を行った場合でも、スムーズなリミッティングプロセスを実現します。
- 6 ニー**  
smart:Comp 2は、信号がスレッシュホールドレベルを超えた後、ニーシェイプによって、徐々に(ソフトニー)、または急激に(ハードニー)、ゲインの減少を開始します。ニーがソフトなほど、信号レベルが上がるにつれて、定義されたレシオに到達するまでの圧縮速度が遅くなります。
- 7 スタイル**  
コンプレッサーのキャラクターを、透明で繊細なサウンドの「clean」と、タイトで暖かくパンチのあるサウンドの「dirty」の間で決定します。





# アタック&リリースシェイパー

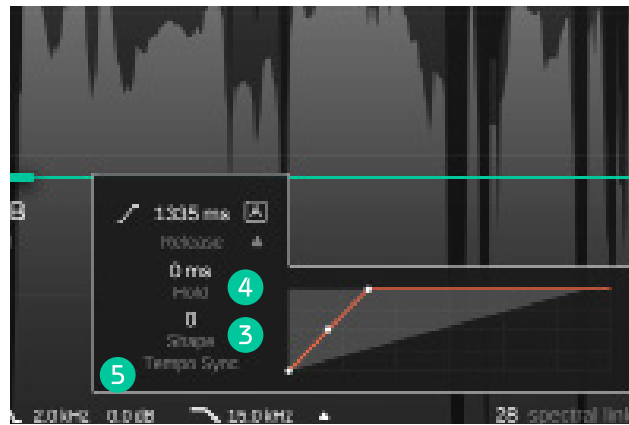
アタックタイムとリリースタイムを素早く変更するには、小さなアタックとリリースのアイコン(スレッシュホールドの下)を上下に動かしてください。細かな調整を行う場合は、アタック&リリースシェイパーで視覚的に設定することができます。これはサウンドデザインやトランジェントを形成する場合に特に最適です。アタックまたはリリースラベルの小さな矢印をクリックすることでアクセスできます。



**1 アタックシェイプ**  
アタックシェイプは、スレッシュホールドレベルを超えた後、アタックタイム中に信号が最大圧縮に達する速さを定義します。

**2 アタックホールド**  
アタックホールドは、信号がスレッシュホールドを超えた後、圧縮が開始されるまでにコンプレッサーが待機する時間を定義します。

**3 リリースシェイプ**  
リリースシェイプは、リリースタイム中に信号が圧縮状態から回復する速さを定義します。



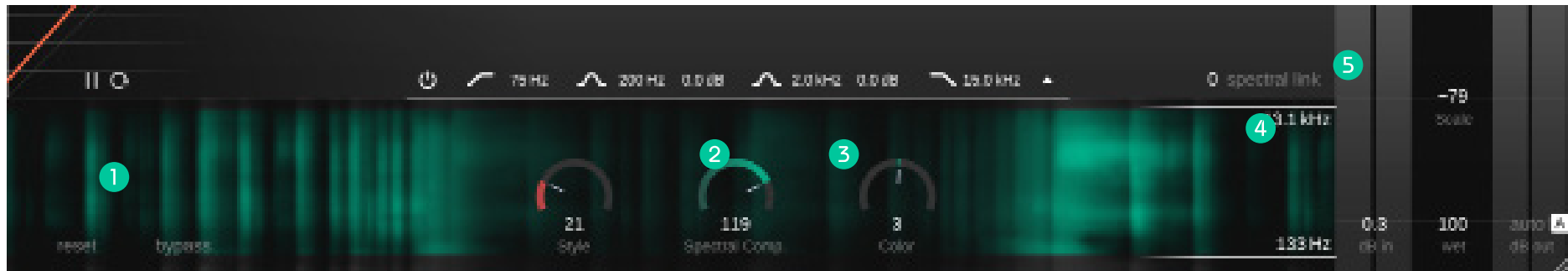
**4 リリースホールド**  
リリースホールドは、スレッシュホールドを下回った信号が圧縮状態から回復し始めるまで、コンプレッサーが待機する時間を定義します。

**5 テンポシンク**  
smart:comp 2は、DAWで選択されているテンポにリリースタイムを同期させることができます。

# スペクトラルコンプレッション

smart:comp 2は、2000以上のバンドで入力信号を継続的に分析することで、インテリジェントな超高解像度マルチバンドコンプレッサーのように動作し、音色の不均衡をダイナミックに平滑化します。本当に必要な部分だけにコンプレッションするので、常に一貫したトーンバランスとダイナミックバランスを保つことができます。スペクトラルコンプレッションは、トラックにベストな調整と最大の透明性を与えることを目的としています。

スペクトラルコンプレッションはsmart:comp 2が信号を学習した後に、有効になります。



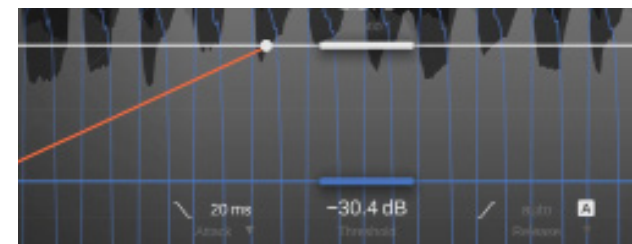
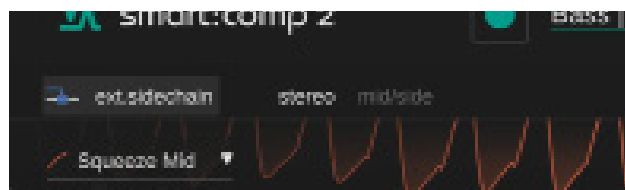
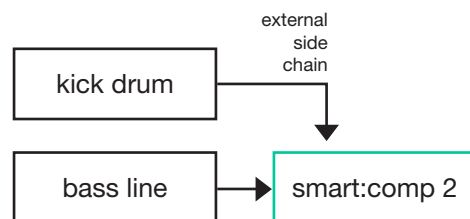
- 1 スペクトラルコンプレッション表示**  
smart:comp 2がスペクトラルコンプレッションを適用している箇所を、スペクトログラムのような表示で確認できます。不透明な部分が多いほど、圧縮がかかっていることを示します。
  - 2 スペクトラルコンプコントロール**  
スペクトラルコンプレッションの強度をコントロールします。0に設定すると、smart:comp 2は通常の広範囲ブロードバンドコンプレッサーとして動作します。
  - 3 カラーコントロール**  
スペクトラルコンプレッションのサウンド(暗くまたは明るく)を変更します。
  - 4 周波数範囲**  
スペクトラルコンプレッションを適用する周波数帯域をコントロールします。
  - 5 スペクトラルリンク**  
スペクトラルコンプレッションで、選択した周波数範囲外の信号がどうなるかを選択します。100に設定すると、圧縮は行われません。0に設定すると、完全な広範囲ブロードバンドコンプレッションが適用されます。
- この設定は、周波数範囲を限定して設定した場合にのみ影響を及ぼします。

# スペクトラルダッキング

外部サイドチェインモードでは、プラグインのサイドチェイン入力にルーティングされた外部信号によってゲインリダクションが制御されます(ダッキングと呼ばれる手法)。

smart:comp 2のスペクトラルコンプレッションは、通常の広範囲ブロードバンドダッキングのアプローチをさらに進化させ、スペクトルの衝突が発生する場所だけにメイン信号のスペースを作り出します。スペクトラルダッキングは、2つの信号をスムーズに融合させることができ、通常のブロードバンドダッキングで生じるポンピングを回避することができます。

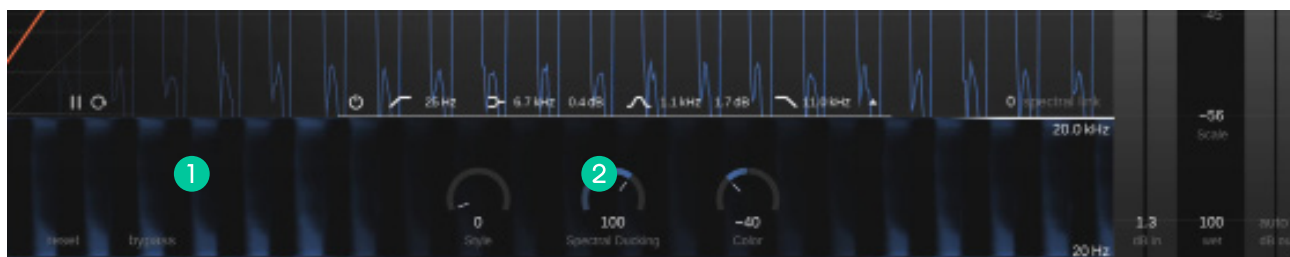
smart:comp 2  
マニュアル



DAWで、スペースを与えたい信号を外部サイドチェインとしてsmart:comp 2にルーティングします。

smart:comp 2の「ext.sidechain」をアクティブにします。インターフェイスの一部が青くなります。

現在コンプレッションをトリガーしている外部サイドチェインは、タイムドメインコンプレッションに表示されます。



## ① スペクトラルダッキング表示

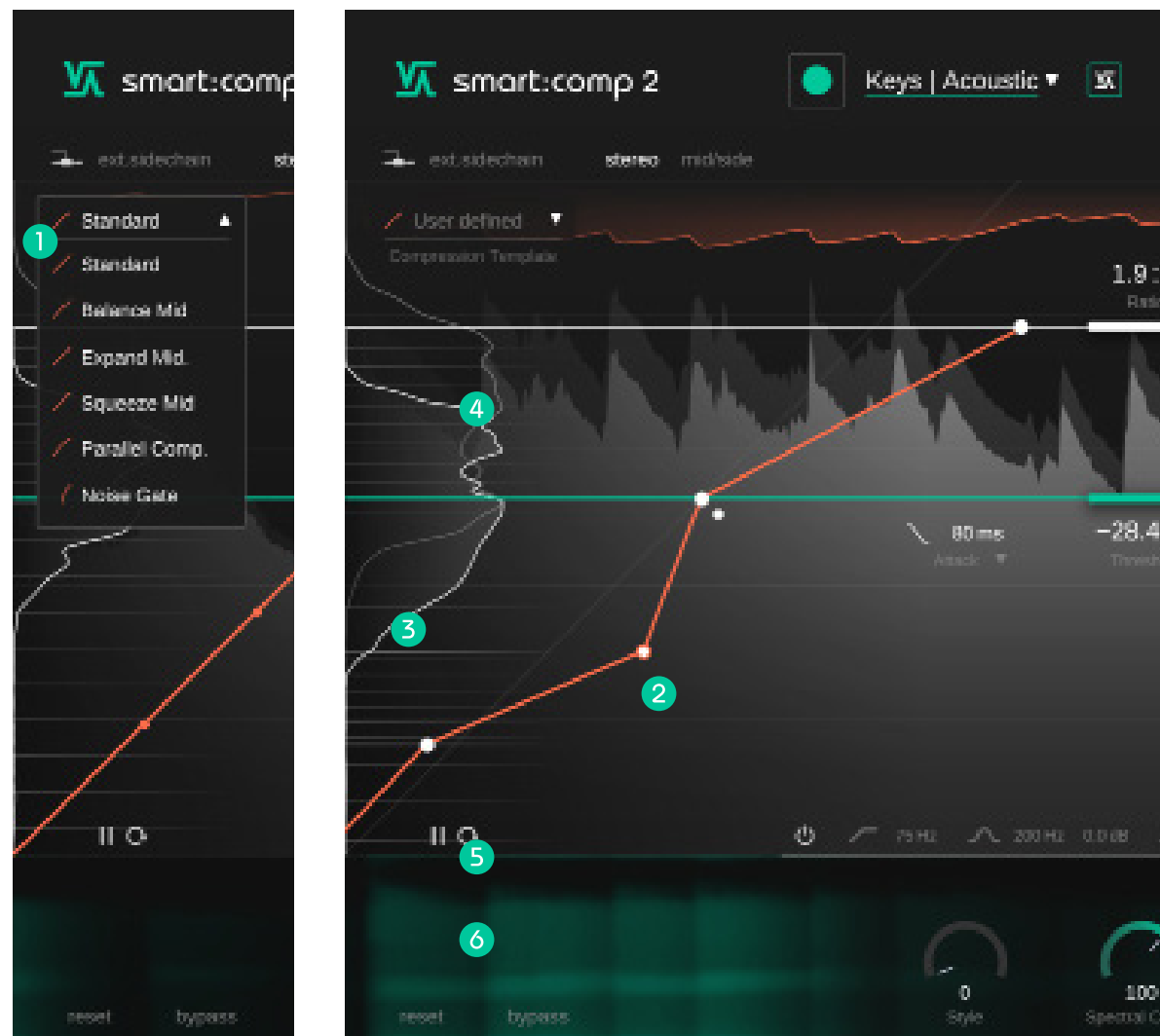
スペクトラルダッキングがサイドチェイン信号のためにスペースを作っている箇所を確認できます。不透明な部分が多いほど、ダッキングが適用されていることを意味します。

## ② スペクトラルダッキングコントロール

スペクトラルダッキングの強度をコントロールします。0に設定すると、smart:comp 2は通常の広範囲ブロードバンドダッキングを適用します。

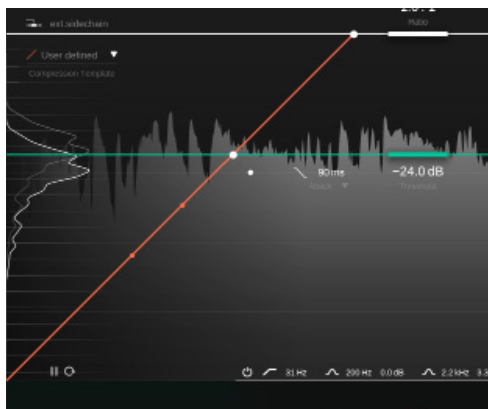
# フリーフォームトランスファーファンクション シジョン&レベルヒストグラム

smart:comp 2では、圧縮伝達方法を自由に変更でき、複雑な圧縮目標(例:低音域のコンテンツをブーストして中音域をそのまま保つ)やサウンドデザイン(より極端な設定)を実現するためのテンプレートが用意されています。



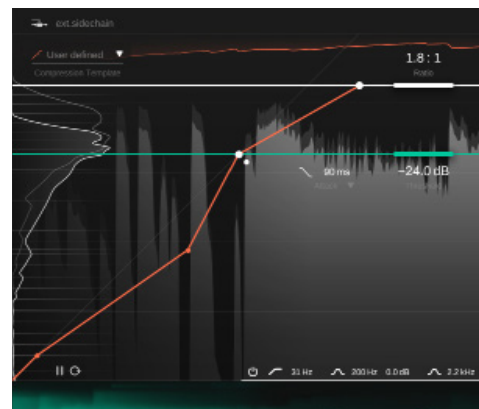
- 1 テンプレートライブラリを使って何ができるか探します。
- 2 フリーフォームトランスファーファンクションの任意のポイントを自由に変更して、レベルマッピングをカスタマイズすることができます。
- 3 **レベルヒストグラム**  
RMSレベルヒストグラムは、入力ゲインを含む入力信号(ライトグレー)と出力ゲインを除く圧縮出力信号(ホワイト)のレベル分布を示します。コンプレッション設定を変更すると、これらの曲線はリアルタイムで更新されます。
- 4 **コンプレッショングリッド**  
コンプレッショングリッドは、トランスファーファンクションに現在設定されているレベルマッピングを視覚的に表現したものです。どのレベルが圧縮または拡張されているのか、直感的に把握することができます。
- 5 **一時停止/リセット**  
ヒストグラムのレベル計測をリセットまたは一時停止します。smart:comp 2に入力するシグナルチェーンに大きな変更を加える場合に、この機能を使用します。

# フリーフォームトランスファーファンクションの例



## コンプレッションなし

この設定では、任意の入力レベルが同じ出力レベルにマッピングされます。信号が完全に変化しないことになります。

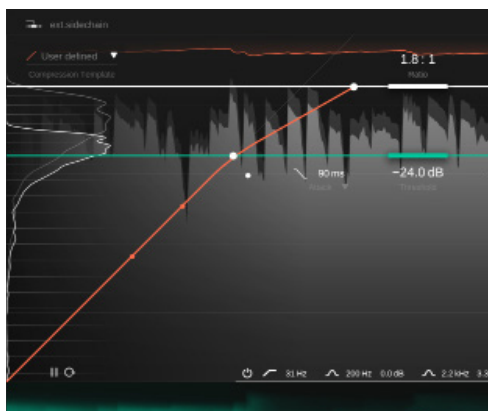


## エキスパンドミッド

「Expand Mid」テンプレートを選択し、smart:comp 2が設定したスレッシュールド以下のレベルを処理する方法を変更しました。

最も大きな信号部分はコンプレッションされ、スレッシュールドと2番目のポイントの間の信号は拡張され、低いスレッシュールドより下の信号は再びコンプレッションされます。

このマッピングは、コンプレッショングリッドの間隔によっても示されます。



## 通常の下向きコンプレッション

これは、通常の下向きコンプレッションのトランスファーファンクションです。

スレッシュールドより上ではグリッド線が接近しており、この部分で信号がコンプレッションされることがわかります。スレッシュールド以下では、信号は変化しません。

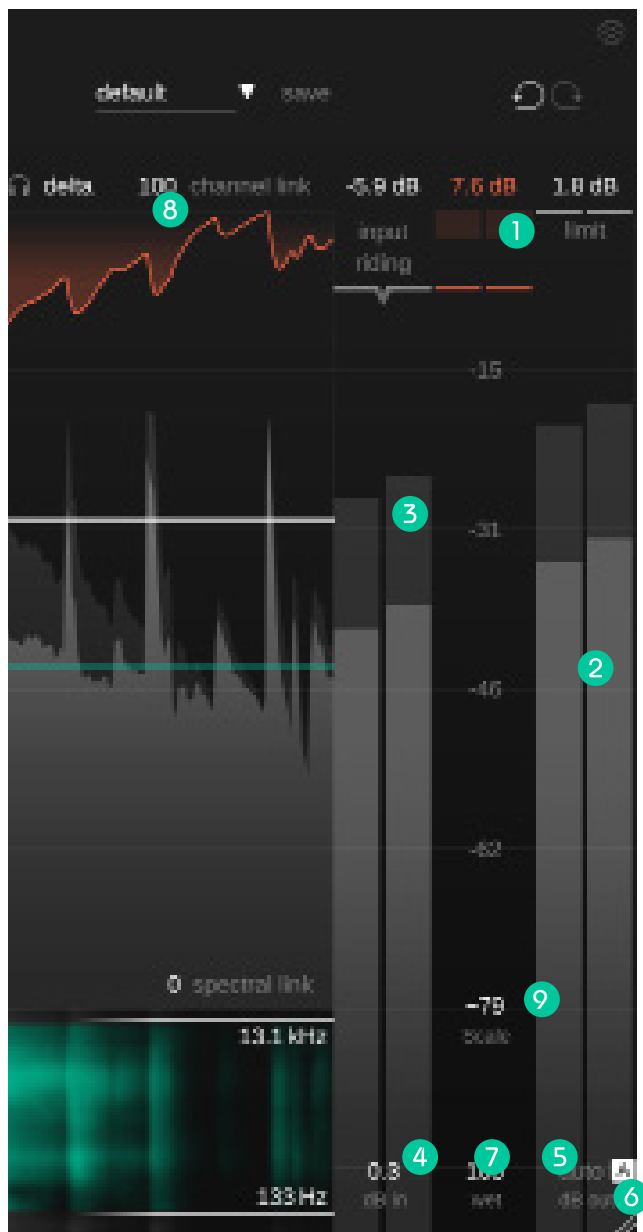
リリースタイムによって、コンプレッサーがピーク後にゲインリダクション0に戻るまでの間、スレッシュールド以下のレベルも変化します。



## ノイズゲート

この例では「Noise Gate」テンプレートを選択しました。これにより、非常に静かな信号部分が出力レベル0にマッピングされ、ゲートのような機能が追加されます。

# メータリング&ゲインコントロール



- 1 読み出しゲインリダクションメーター**  
ゲインリダクションメーターは、コンプレッサーによって適用されるリアルタイムのマイナスゲインを表示します。メーターの上にあるGR値(=ゲインリダクション)は、全チャンネルの現在の最大ゲインリダクションを示します。
- 2 読み出し出力メーター**  
出力メーターは、出力信号のピーク値(背景)とRMS値(前景)を表示します。ピーク値は、全チャンネルの最大観測ピーク値を表示します。
- 3 読み出し入力メーター**  
入力メーターは、ゲインされた入力信号のピーク値とRMS値を表示します。インプットライディングが有効な場合(次ページ参照)、適用されたゲインオフセットはメーター内の緑のバーで表示されます。
- 4 インゲイン**  
適切な入力レベルになるように、入力ゲインを設定します。
- 5 アウトゲイン(メイクアップゲイン)**  
出力ゲイン(メイクアップゲイン)を設定して、信号がミックスに合うように、平均的な全体のレベルを調整します。
- 6 オートゲイン**  
オートゲインは、圧縮によるレベル低下を補うために、出力ゲイン(メイクアップゲイン)を自動的に設定します。学習プロセス後に、オートゲインは入力と出力のRMSレベルの良好なマッチングを確保するスマートオートゲインになります。
- 7 ウェット**  
ウェット信号とドライ信号の比率をコントロールします。100%にすると、ウェット(コンプレッションした)信号だけが聞こえるようになります。
- 8 チャンネルリンク**  
チャンネルリンクは、ステレオまたはマルチチャンネルの信号を扱うときに、チャンネル間のリンクの量を制御します。100に設定すると、任意のチャンネルで計算された最大ゲインリダクション値が、すべてのチャンネルに適用されます。値を小さくすることで、すべてのチャンネルが徐々に独立して処理されるようになります。
- 9 スケール**  
信号履歴、メーター、フリーフォームトランスファーファンクションの表示範囲を24dB~96dBの間で制御します。

# インプットライディング

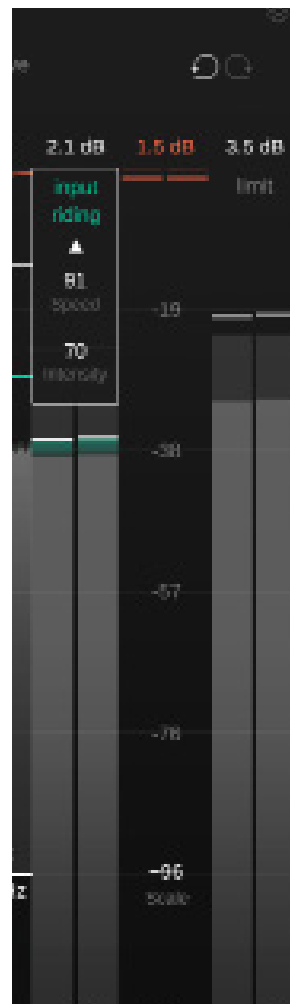
smart:comp 2のインプットライディングは、入力ゲインにダイナミックなマイナスまたはプラスのオフセットを加えることで、ゲインした入力信号のレベルが一定の範囲に収まるようにします。インプットライディングは、信号の異なるセクション(例えば、大きいもしくは静かなセクション)のレベル差のバランスをとることができます。そうすることで、処理された信号のレベルは、ほぼ一定に保たれます。

smart:comp 2  
マニュアル



ラベルをクリックすると、インプットライディングが有効になります。  
インプットライディングが信号に与える影響は、インプットメーター内の緑のバーで確認できます。

smart:comp 2に信号を学習させなければ、インプットライディングは有効になりません。



矢印をクリックするとインプットライディングウィジェットが展開され、追加のコントロールオプションにアクセスできます。

スピードは、入力レベルの変化に対するゲイン適応の速度をコントロールします。

インテンシティは、インプットライディングが信号に適用する最大オフセット量を制御します。

# サイドチェインEQ

サイドチェインEQは、コンプレッサーのサイドチェイン信号(=コンプレッサーがゲインリダクションの計算に使用する信号)にプリフィルターをかけることができます。そうすることで、特定の周波数帯域がコンプレッサーに与える影響を誇張(または軽減)することが簡単にできるようになります。



- 1 小さな矢印をクリックして、サイドチェインEQウィジェットを展開します。
- 2 サイドチェインEQのオンオフを設定します。
- 3 ハイパスフィルターまたはローパスフィルターを設定します。
- 4 クリック&ドラッグでフィルターのゲインと周波数を変更し、スクロールでQファクターを変更し、ダブルクリックでフィルターをリセットします。
- 5 フィルターの種類をベル、シェルフ、インアクティブの間で変更します。
- 6 ラベルをクリックすると、正確な値を入力することができます。
- 7 フィルタリングされたサイドチェイン信号を聞くことができます。



# M/S処理

smart:comp 2はM/S処理に完全対応しており、それぞれの信号に対して異なるコンプレッション設定を行うことが可能です。



- 1 ステレオモードとM/Sモードを切り替えます。
- 2 各信号に対して、スレッシュホールド、レシオ、アタック、リリースのパラメータを個別に設定します。「M」「S」のラベルまたは非アクティブなトランスファーファンクションのレシオポイントをクリックすることで、ミッドとサイドを切り替えることができます。
- 3 M/Sモードでは、メーターはミッド信号とサイド信号のレベル、ゲインリダクションとその履歴を表示します。
- 4 ミッド信号とサイド信号の入出力ゲインを個別に設定します。

# サラウンド処理

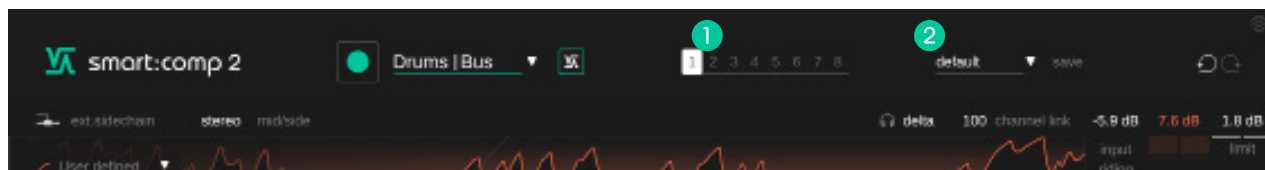
smart:comp 2は、サラウンド信号(5.1)に対応しています。全チャンネルに同じ処理を施すことも、センターとサイド+リアチャンネルに別々の処理を施すことも可能です

smart:comp 2  
マニュアル



- 1 サラウンドモードとセンター/サイド+リアモードの切り替え
- 2 センターとサイド+リアチャンネルのスレッシュホールド、レシオ、アタック、リリースパラメータを個別に設定します。センターとLSR(左、サイド+リア、右)の信号を、それぞれのラベルまたは非アクティブなトランスファー関数のレシオポイントをクリックして変更します。
- 3 サラウンド信号を扱う場合、すべてのチャンネルに個別のメーターが表示されます。
- 4 センターチャンネルとサイド+リアチャンネルに個別の入出力ゲインを設定します。
- 5 LFEチャンネルをコンプレッション処理に含めるか含めないかを設定します。

# ステートとプリセット



## 1 ステート

ステートを使って、複数のパラメータ設定を保存することができます。ステートは、異なる設定を簡単に比較することができます(多くのプラグインにあるA/B機能に似ています)。

### ステートの操作

1. 各ステートは初期状態では空です(smart:comp 2のデフォルトパラメータ設定)。
2. 各ステートのボタンをクリックして選択します。
3. ドラッグ&ドロップで、あるステートを別のステートに簡単にコピーすることができます。これは、ある設定に対する異なる変更を比較したい場合に便利です。
4. ステートをクリアするには、数値の上にカーソルを合わせ、下に表示されるゴミ箱アイコンをクリックします。

## 2 プリセット

プリセットは、すべてのパラメータ設定を保存し、すべてのプラグインインスタンスからアクセスすることができます。

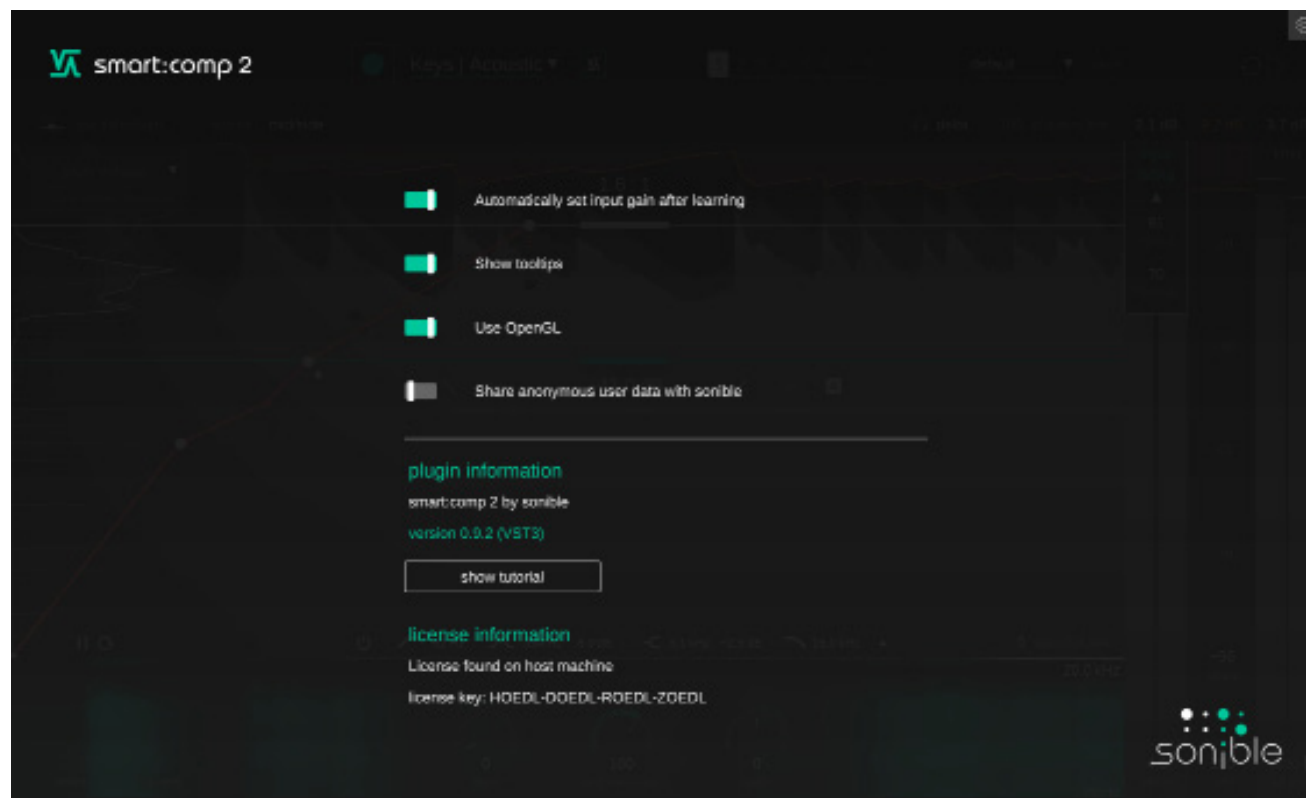
- パラメータ設定をプリセットとして保存するには、プリセットドロップダウンの横にある「save」をクリックします。
- 保存したプリセットをロードするには、ドロップダウンからプリセット名を選択します。
- プリセットを削除したり、名前を変更したりする場合は、ローカルのファイルエクスプローラーでプリセットフォルダにアクセスします。

異なるワークステーション間でプリセットを簡単に共有することができます。すべてのプリセットは、以下のフォルダに拡張子「.spr」で保存されます。

### プリセットフォルダ

OSX: ~/Library/Audio/Presets/sonible/smartComp2  
Windows: My Documents\Presets\sonible\smartComp2

# 設定とライセンス



設定画面は、右上の歯車アイコンからアクセスできます。

## 学習後、入力ゲインを自動設定

学習が完了したときに、自動的に入力を設定するようにします。このオプションは、静かな入力信号のレベルを自動的に-6dBFS前後の適切な動作レベルまで上げる場合に役立ちます。

## 学習後オートゲインを有効

学習後、自動的にオートゲイン(自動出力ゲイン)が有効になります。コンプレッションによるレベル低下を補うための出力ゲインを自動で設定します。

## ツールチップを表示

ホバー時のツールチップ表示オンオフを設定します。

## OpenGLを使用

OpenGLは、特定のコンピュータハードウェアでレンダリングの問題を引き起こす可能性があります。このオプションを使用して、OpenGLを無効にします。

## 匿名のユーザーデータをsonibleと共有する

完全に匿名化されたユーザーデータをsonibleと共有し、smart:comp 2の改善に役立てることができるようにします。

## プラグイン情報

ここでは、プラグインの名前とバージョンを確認することができます。「show tutorial」をクリックすると、ウェルカムツアー(プラグインの機能を簡単に説明するツアー)が始まります。

## ライセンス情報

ライセンスの状態と番号が表示されます(iLokを使用してライセンスを取得していない場合)。

## 更新のお知らせ

プラグインの新しいバージョンが利用可能になると、ここに通知が届き、smart:comp 2のメインビューの歯車アイコンにも小さな点が表示されます。緑色のテキストをクリックすると、最新版がダウンロードできます。



# smart:comp 2

[www.sonible.com/smartcomp2](http://www.sonible.com/smartcomp2)

**sonible GmbH**

Haydngasse 10/1  
8010 Graz  
Austria  
phone: +43 316 912288  
contact@sonible.com

すべての仕様は予告なく変更されることがあります。

©2020, sonible GmbH. すべての権利を保有します。オーストリアの  
sonible社によって設計・デザインされました。

[www.sonible.com](http://www.sonible.com)

